

令和7年度 6月補正予算案



令和7年6月5日 越前市

令和7年度6月補正予算のポイント

国の採択や県当初予算と連動し、自動運転の実証事業や看護学生の就学支援、ICT機器を活用した鳥獣害対策の推進により、次世代を支える担い手の育成とDXを活用した省人化への新たな取組みを進めるとともに、コミュニティ助成事業や4月に発足した越前市出身のトップアスリートチームによるスポーツイベントの開催など、地域のつながりと市民活躍を推進する予算を計上しました。

また、健やかで安心できる暮らしを実現するため、今年2月の大雪や他県での道路陥没事故を踏まえ、半壊した空家の撤去や下水道管路の緊急調査などに必要な予算を計上しました。

6月補正予算の構成

- 1 次世代を支える担い手の育成とDX
を活用した省人化への新たな取組み
- 2 地域のつながりと市民活躍の推進
- 3 健やかで安心できる暮らしの実現



越前市出身のトップアスリート5人によるe☆SPARKLE▲

令和7年度6月補正予算 規模

一般会計 8,030万1千円

○令和6年度6月補正予算に比べて、2億1,268万1千円の減

○補正後の予算額は、398億9,330万1千円

(単位：千円)

会計区分	令和7年度			令和6年度	対前年度増減
	補正前	補正額	補正後	補正額	
	①	②	③	④	② - ④
一般会計	39,813,000	80,301	39,893,301	292,982	△212,681
				(通常分) 270,482	
				(追加分) 22,500	
特別会計	16,878,607	-	16,878,607	-	-
企業会計	8,348,318	4,655	8,352,973	-	4,655
合計	65,039,925	84,956	65,124,881	292,982	△208,026

1 次世代を支える担い手の育成とDXを活用した省人化への新たな取り組み

地域交通対策事業【自動運転を活用した移動サービス実証実験の実施】

～コンソーシアム（越前市、NTT西日本福井支店、福井鉄道）で実施～

1 事業目的

- ① バス・タクシー業界の運転手不足対策としての自動運転の可能性の模索
- ② 二次交通や越前たけふ駅周辺での自動運転を活用したサービス導入の可能性の検討
- ③ 交通分野でのGX※推進による環境負荷の低減
- ④ ウォーカブルなまちづくりの推進 ※GX（グリーントランスフォーメーション）：脱炭素社会を目指すための取り組み

レベル	名称	運行主体
0	運転自動化なし	人
1	運転支援	
2	部分運転自動化	システム
3	条件付運転自動化	
4	高度運転自動化	
5	完全運転自動化	

2 事業内容

レベル2（部分運転自動化） 運賃無料

3 運行ルート

越前市役所～総社大神宮～武生中央公園

4 運行期間

[準備運行] 令和7年9月
[一般運行] 令和7年10月

5 事業費

[コンソーシアム事業費] 45,000千円
うち 国庫補助金（補助率4/5） 36,000千円
市負担金 9,000千円
※うち県補助金 2,000千円



予算額 9,000千円

財源：県 2,000千円、一般財源 7,000千円

【事業名：地域交通対策事業】

予算書p12

担当課：地域交通課

1 次世代を支える担い手の育成とDXを活用した省人化への新たな取り組み

地域医療活動支援事業【看護学生就学支援】

県や武生医師会と連動し、武生看護専門学校の学生確保及び市内医療機関等への就業を促進するため、就学に係る準備費用の一部を支援します。

補 助 対 象	令和8年度に武生看護専門学校に就学する 看護学生のうち、卒業後、看護師として 市内医療機関や介護事業所に就業する意思がある者
補 助 額	20万円

※ただし、武生看護専門学校を退学した場合や市内医療機関等に看護師として就業しなかった場合は補助金の返還を求める。



(写真：武生看護専門学校提供)



予算額 4,000千円

財源：一般財源 4,000千円

【事業名：地域医療活動支援事業】

予算書p12

担当課：健康増進課

1 次世代を支える担い手の育成とDXを活用した省人化への新たな取り組み

農作物鳥獣害防止対策推進事業【ICT機器を活用した鳥獣害対策支援】

高齢化、少子化による人手不足が進む農村部において実施する、ICT機器を活用した、①捕獲、②追い払い、③集落点検をパッケージとした事業を支援することにより、データに基づく効果的・効率的な被害対策につなげます。

1 補助対象 越前市鳥獣対策協議会

2 補助率 10/10

①捕獲



▲大型檻と遠隔監視操作・自動捕獲システム（イメージ）

②追い払い



▲ドローンによるサル追い払い

③集落点検



▲電気柵電圧監視システム

予算額 12,000千円

財源：県 12,000千円

【事業名：農作物鳥獣害防止対策推進事業】

予算書p12

担当課：農林整備課

2 地域のつながりと市民活躍の推進

コミュニティ助成事業【コミュニティ活動に必要な備品等の整備支援】

地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な備品・設備等の整備に対し助成を行います。

1 王子保地区自治振興会

整備備品：折りたたみテーブル、椅子など

補助額：2,500千円

2 国高地区自治振興会

整備備品：折りたたみテーブル、椅子など

補助額：2,500千円



▲コミュニティ活動の例（自治振興会主催イベント）

予算額 5,000千円

財源：（一財）自治総合センター 5,000千円

【事業名：コミュニティ助成事業】
予算書p12
担当課：市民協働課

2 地域のつながりと市民活躍の推進

社会体育振興事業【トップアスリートチームによるスポーツイベントの開催】

生涯スポーツで誰もが元気に幸せを実感するため、e☆SPARKLEとともに市民活躍の推進・交流人口を拡大する事業を実施します。

▼e☆SPARKLEアカデミーイメージ



▼ロードバイク試乗会イメージ



e☆SPARKLE（きらめく人を増やすことを目的とした越前市出身のトップアスリート5人による応援チーム）▲

名称（案）	目的	内容（案）
e☆SPARKLEイベント	スポーツイベントで市民活躍の推進・交流人口拡大	夏休み期間中にアスリート5人によるイベントを開催（ランニング・体験・トークショーなど） 菊花マラソン大会当日にベビーカーウォークなどのイベントを開催
e☆SPARKLEアカデミー	ジュニア世代の競技スポーツの推進	ジュニア選手の運動能力のさらなる向上のため、トップアスリートによるアカデミー教室を開催
e☆SPARKLEバイク	自転車による健康増進・観光誘客	中島選手監修のもと武生中央公園を発着点としてロードバイクを試乗するイベントを開催

予算額 500千円

財源：県 100千円、一般財源 400千円

【事業名：社会体育振興事業】

予算書p14

担当課：スポーツ交流課

3 健やかで安心できる暮らしの実現

妊娠・出産包括支援事業【産後ケア施設整備支援】

産後ケアサービス(※)の提供体制の充実を図るため、産後ケア施設の整備を支援します。

- 1 補助対象 市内の一般社団法人
- 2 補助率 3／4
- 3 施設整備費総額 2,420千円
 〔内訳〕 事業者負担 605千円
 市補助額 1,815千円
 うち国庫補助金 1,210千円

4 施設概要

所在地：押田二丁目 E うのビル2階

開所日：令和7年7月（予定）

特 徴：丹南地区では初めて産後ケアに特化した施設

※産後の母と子の健康のために、助産所や医療機関でのショートステイ（宿泊）やデイサービス（日中）に通い、心とからだを休めながら育児相談や授乳指導などを受けられるサービス



▲開設予定地



予算額 1,815千円

財源：国 1,210千円、一般財源 605千円

【事業名：妊娠・出産包括支援事業】

予算書p12

担当課：健康増進課

3 健やかで安心できる暮らしの実現

感染症予防事業【新型コロナワクチン接種】

新型コロナワクチンの定期接種を令和7年度も実施します。接種体制を整備することで、高齢者等の重症化を防止し、併せてまん延を予防します。

接 種 対 象 者	(1) 65歳以上の高齢者 (2) 60～64歳の心臓、腎臓、呼吸器免疫機能障害があり、身体障がい者手帳1級相当の人
接 種 時 期	令和7年10月～令和8年1月（予定）
自 己 負 担 額	7,500円 ※低所得者（生活保護受給者等）は自己負担なし



予算額 32,209千円

財源：一般財源 32,209千円

【事業名：感染症予防事業】
予算書p12
担当課：健康増進課

3 健やかで安心できる暮らしの実現

空き家対策事業

今年2月の大雪で半壊した、所有者がいない空家について、住民の安全を確保するため残存建物を除却します。

- 1 対象空家 中津山町地係
(南中山地区)
- 2 事業内容 ①半壊状態の建物の解体、
②残置物の処分
- 3 除却方法 空家等対策特別措置法の
規定による略式代執行
- 4 スケジュール 令和7年秋頃に解体予定



▲対象となる空家

予算額 6,500千円

財源：国 3,250千円、県 1,000千円、一般財源 2,250千円

【事業名：空き家対策事業】
予算書p12
担当課：建築住宅課

3 健やかで安心できる暮らしの実現

小学校給食事業・中学校給食事業【地場産プラスワン給食】

食育の推進を図るため、通常の給食に地場産食材を活用した副食（おかず、デザート）を1品追加し、給食を教材とした「食育」を行います。

- 1 対象者 市内小中学校の児童生徒
- 2 目的 地域の自然、歴史、文化、伝統行事などを学ぶ食育の推進
- 3 実施内容 一人あたり約100円／食 6回／年（9月～2月予定）



予算額 3,555千円

財源：県 3,555千円

【事業名：小学校給食事業・中学校給食事業】

予算書p14

担当課：教育振興課

3 健やかで安心できる暮らしの実現

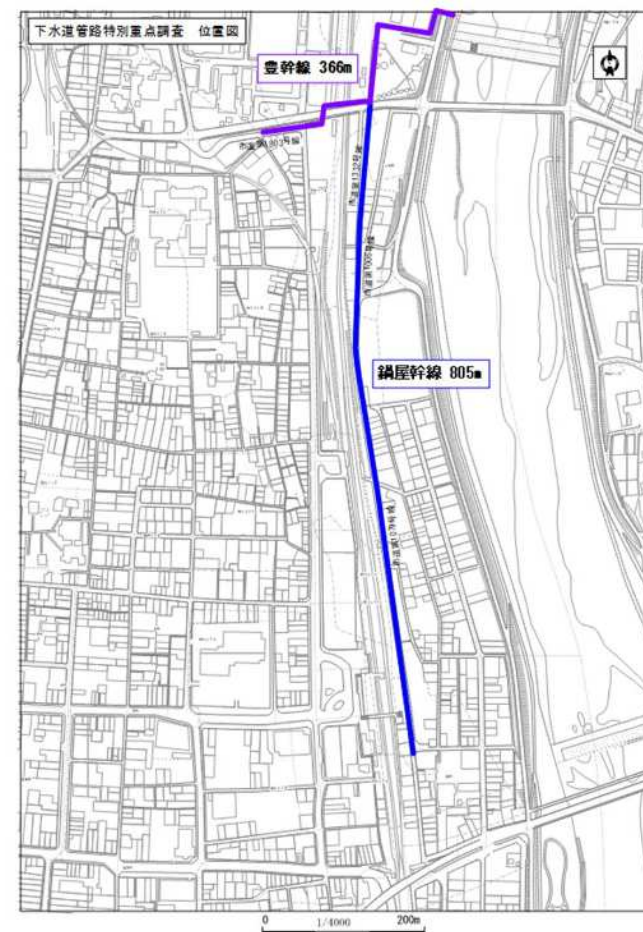
下水道事業会計【大規模下水道管路特別重点調査】

埼玉県で発生した下水道等に起因する道路陥没事故を踏まえ、同様の事故を防ぐため、緊急調査を行います。

- 1 調査対象 口径2 m以上かつ、
建造30年以上経過した管路
- 2 実施箇所 豊幹線、鍋屋幹線（東地区）
1,171 m（雨水）
- 3 実施内容 管路内の目視点検等



▲管路内の様子



▲対象となる幹線

予算額 4,355千円【下水道事業会計】

財源：国 2,155千円、企業債 2,200千円

予算書p19
担当課：上下水道課

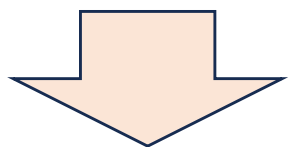
ICTを活用した市民参加型ウォーキングイベント Vitality Walk in Echizen City～Spring～

<概要> 市が協定を締結している生命保険会社と協力し、日常生活の中で市民が楽しみながら運動習慣を身に着けるきっかけづくりの場を提供

スマートフォンアプリ「Vitalityアプリ」を活用し、ウォーキングを行い、目標ポイントを達成するとルーレットを回すことができ、特典が必ずもらえる事業を開催中

- ・対象者 越前市在住・在勤の18歳以上の方（高校生を除く）
- ・実施期間 令和7年4月28日（月）～6月22日（日）の8週間 ※申込期間終了
- ・参加費 無料
- ・定員 200名

○特典：コーヒーチェーン店やコンビニエンスストアで使えるドリンクチケット等



▲「Vitality Walk in Echizen City」利用イメージ

<6月までの取組み状況・今後の予定>

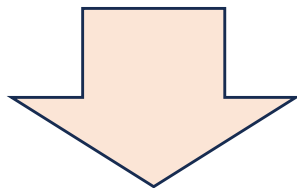
- ・参加者数 225名
- ・中間報告 4週間が経過し、134名が1回以上目標ポイントを達成しており、参加者の運動習慣の継続に繋がっています。
- ・今後について Vitality Walk in Echizen City～Autumn～を同様の概要で開催予定（9月29日（月）～11月23日（日）の8週間）

空家を増やさない取組み

<概要> 空家に対する市民の意識啓発を図るため、ガイドブック等の作成や無料「空家セミナー」の民間との共同開催を通じて、新たな空家の発生を抑制

空家に対する意識啓発：【新】空家セミナーの開催
空家に関するガイドブック等の作成・配布

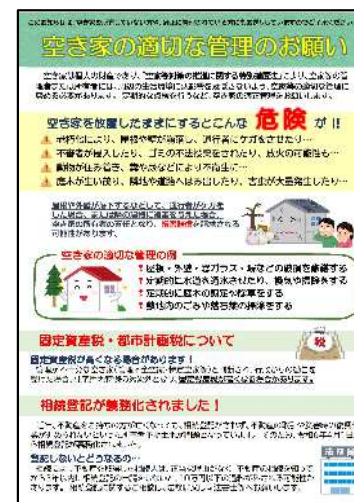
空家の利活用：【新】空家利活用マッチングサービス



▲空家セミナー（イメージ）

<6月までの取組み状況・今後の予定>

- ・固定資産税納入通知書の封筒に、空家の適正管理を促すチラシを同封（4月）
→34,000戸に送付。相談件数増
- ・民間企業と協力して、建物の適正管理・活用を啓発するガイドブックを作成して配布（6月）
- ・古民家や空家の利活用をテーマにした空家セミナーを開催予定（7月）
※共催：（一社）活かそっさ空き家



▲適正管理を促すチラシ

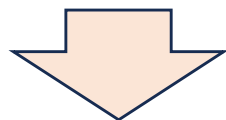


▲ガイドブック

図書館 どこでも読書

<概要> 図書館で役割を終えた本（除籍本）を学校や公民館に配布する等、
不要本を利活用し、本に対する市民の親しみを推進

- ・ 除籍本のうち希望のあるもの ⇒ 学校、公民館等に配布
- ・ 除籍したるるぶ等のガイドブック・雑誌 ⇒ 図書館利用者に配布
- ・ 年2回古本市を開催し、市民から募った不要本を無料配布
- ・ 絵本カフェなどに団体貸出コーナーを設置



▲ふるほん市ポスター

< 6月までの取組み状況・今後の予定>

- ・ 除籍したるるぶ等のガイドブックと雑誌230冊を
図書館利用者に配布（4月5日：中央、25日：今立）
- ・ 読書のまちフェスティバル2025の一環として
古本市を開催、除籍したるるぶ等のガイドブックと
雑誌や市民から募った不要本1,150冊を無料配布
来場者293人（5月10日、中央・今立）
- ・ 秋に古本市を開催予定（10月5日：今立、11月8日：中央）
- ・ 絵本カフェに団体貸出の図書コーナーを随時設置（夏休み宿題、絵本講座など）
- ・ 随時、除籍本の公民館等への配布実施予定



▲ふるほん市の様子